

当院における勤務医負担軽減および処遇の改善に関する取組み

当院では、医師事務作業補助者(クラーク)を配置しています。クラークは、診療録や診断書の記載補助、処方箋打出し及び修正、検査の予約や手順を、医師の補助者として記載の代行を担っています。

医師の勤務体制は、【①連続当直を行わない勤務体制②前日の就業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間確保の確保③予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮】を整えています。

今津病院・令和7年10月1日

医師事務作業補助者掲示事項

看護職員の負担の軽減および処遇の改善に資する体制

当院ではワークライフバランス、看護職員と多職種との業務分担、多様な勤務形態の導入、妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮、夜勤回数の軽減に取り組んでいます。

夜間における看護業務の負担軽減に資する業務として、【①11 時間以上の勤務の間隔確保 ②夜勤の連続回数が 2 連続(2 回)まで ③みなし看護補助者を除いた看護補助者比率 5 割以上 ④看護補助業務のうち 5 割以上が療養生活上の世話】を行っています。

今津病院・令和 7 年 10 月 1 日